

小野藩陣屋町のひなめぐり

小野市とは？

小野市は県庁所在地である神戸市と播磨地方の中心都市である姫路市のほぼ中間にあり、県下最大の加古川の下流域に位置する人口約 5 万人の町である。

肥沃な土地を利用して古くから農業が栄えた。その一方で県下有数の伝統工芸都市として知られ、そろばんの生産地として有名である。また東隣の三木市と共に、金物でも知られる。

① 好古館

好古館の建物は昭和 11 年（1936）に小学校の講堂として建てられた洋風の建物である。玄関の柱や上部を丸く切った飾り窓が珍しい。平成 2 年（1990）に現在の場所に移築し、開館した歴史博物館である。小野市の歴史・民俗・文化に関する資料を展示している。また、入口には浄土寺阿弥陀如来の等身大の姿を映すスクリーンがある。

毎年 1 月後半から 4 月初めにかけて「ビッグひなまつり」が開催される。今年で 12 回目になる。当館の所蔵品をはじめ、市内に残る逸品のひな人形を合わせて 650 体が一堂に展示され、見る者を圧倒する。



ひな人形の歴史

日本の人形の歴史は「ひとかた」から始まるといわれる。千年以上前には「ひとかた」で体をなでて身のけがれや禍を「ひとかた」に移し、水に流して捨てるという信仰があった。

これがやがてかわいい少女の人形遊びの相手である「ひいな」になった。10 世紀に紫式部によって書かれた「源氏物語」などに登場する。

室町時代になると「ひいな」は観賞用の「ひな人形」へと変化するが、このころは公家などの上流階級でひな祭りが行われるだけであった。

一般に広がるのは江戸時代になってからである。現在残っている最も古いひな人形は「寛永雛」といわれ、寛永年間（1624～44）に作られたものといわれている。このころのひな祭りは座敷に毛氈を敷いて紙雛や内裏雛をおき、調度品も少なく、桃の花などを飾り、菱餅を供える程度であった。元禄時代以降に段飾りが行われるようになった。享保年間（1716～36）には「享保雛」と呼ばれる高さ 60cm もある大型が登場し、幕府から禁令がだされるほどであった。しかし、その後も豪華にあり、江戸末期には現在のような五段飾りや七段飾りが登場した。また関西では館の中にひな人形を置く「御殿飾り」が登場し、昭和 30 年代半ばまで多くの家庭で飾られた。

（好古館資料より）

②一柳家陣屋遺跡

小野小学校の校門近くに「一柳家陣屋遺跡」と刻まれた、高さ 2m ほどの自然石が建っている。かつての陣屋跡を思わせるものは何もないが、この辺りに藩務を行う建物や藩主の館、武家屋敷が並んでいた。南と西は断崖で、東にある三つの池が堀の役割を果たすという天然の要害の地である。平坦な平野部が広がる小野にあっては、ここしかないと思われる適地であった。



小野藩一柳家とは？

初代直家は伊予と播州加東郡に 2 万 8 千石を領する大名だったが、嗣子がいよいよ死した。本来ならばお家取り潰しになるところであるが、先代直盛が関ヶ原合戦や大坂の陣で活躍した功績により、養子直次が特別に相続を許され、寛永 20 年（1643）に 1 万石に減封されて小野を領することになった。1 万石の大名では城を構えることは許されず、陣屋を構えた。一柳家は明治維新にいたるまで 230 年以上も続いた。

最後の藩主一柳末徳の次男恵三は NHK の朝ドラ「あさが来た」のモデル広岡浅子の婿養子で、大同生命の 2 代目社長となった。

また、三女満喜子は米国人メレル・ヴォーリズと結婚し、近江兄弟社学園の学園長を務めた。

③磐代神社（いわしろじんじゃ）

一柳家の氏神として、陣屋の構築とともに建社された。社殿は昭和 40 年の台風で倒壊した後、コンクリート造で再建された。本殿軒下中央に一柳家の家紋が施されている。

祭日である 3 月 29 日は秀吉の家臣として活躍した一柳直末が伊豆山中城合戦で戦死した日にあたり、旧藩時代には藩主自らが祭祀を司り、直末の武功にあやかるべく、軍神として尊崇し、出陣の時は必ず参拝して武運長久を祈願したと伝わる。



ヴォーリズと結婚した満喜子は一度も小野に住んだことはないが、心の故郷としていつまでも大切にした。

- ・昭和 15 年「一柳直末没後 350 年」の記念式典には夫ヴォーリズと共に参列した。
- ・昭和 41 年社殿再建の際には燈籠を奉納した。「近江八幡市 一柳満喜子」の銘が刻まれている。
- ・北面に建つ「(寄付) 芳名録」には満喜子の名が刻まれている。

④ 小野商店街

小野商店街は全長 800mほどのアーケードが続いている。この地に小野藩陣屋ができた時、商人や手工業者が集まる町場として発展したのが始まりである。

商店街を進むと鳥居が建っている。京都から招来された愛宕神社である。雷神を祀る防火の守護神である。鳥居の両脇に高さ 2mを越す二基の神灯がある。大正 2 年に奉納されたもので、台座に「算盤仲間」と彫られている。

好古館のひな祭りにあわせて、商店街でも多くの店でひな人形が展示される。

⑤ 小野市伝統産業会館

昭和 58 年（1983）に開館し、小野市の伝統産業であるそろばん・金物を展示、紹介する。入口を入ると、突き当りに掲げられた 213 桁という世界最長のそろばんに驚かされる。奥にはそのぼんとそろばんの玉で作られた見事な姫路城がおかれている。

館内には「そろばん博物館」が設けられており、昔のそろばんや海外のそろばん、小野市の特産物である家庭用刃物や木工品が多数展示されており、歴史を学ぶことができる。



播州そろばん

そろばんは室町時代に中国から伝来し江戸時代に普及するようになった。小野のそろばんは秀吉による三木城攻略の時に、大津の方に難を逃れた住民が製法を習得して持ち帰って製造を始めたのが起源をいわれる。農家の副業として始められ、「播州そろばん」として知られるようになった。最盛期の昭和 35 年には 360 万挺という全国一の生産量を誇ったが、今は電卓などの普及で次第に生産量が少なくなり、53 万挺ほどであるが、全国生産の約 70%を占めている。

昭和 51 年に国の伝統的工芸品に指定されている。

⑥ 王塚古墳

小野市役所の北、加古川左岸の段丘上に王塚古墳がある。かつて存在した「王子古墳群」の中ではただ一つ完全に残っている古墳である。径 45m、高さ約 7mの円墳で、周囲に幅 8m、深さ 1mほどの堀がめぐらされている。

竪穴式石室からは、昭和 27 年の発掘調査



では、木棺には副葬品として鎧、甲、鉄刀、鏡などが納められていた。これらから古墳時代中期（5世紀中頃）の築造と推定される。被葬者はこの地を支配していた豪族であろう。

墳頂に「王塚」の石碑があり、揮毫は元兵庫県知事金井元彦氏である。

（次回予告）

2023. 3. 18

兵庫史を歩く No. 34 海を眺めながらの古墳めぐり

大歳山遺跡公園～苔谷公園～五色塚古墳

被葬者は誰か？ 五色塚古墳の謎を解く